

# COVID-19感染患者に対する 還元型CoQ10による感染後症候群の改善 ※山岳スパリハビリテーションとの併用効果

	山岳リハビリのみ (10名)				山岳リハビリ+還元型CoQ10 (20名)			
	MR1	MR2	MR1 %	MR2 %	MR1	MR2	MR1 %	MR2 %
乾燥した咳	3	3	30	30	9	2	45	10 ↓
息切れ	6	6	60	60	13	6	65	30 ↓
呼吸困難	6	3	60	30 ↓	13	8	65	40 ↓
寒気	2	1	20	10 ↓	3	0	15	0 ↓
動悸	3	1	30	10 ↓	10	4	50	20 ↓
酸素による呼吸補助	0	0	0	0	3	0	15	0 ↓
衰弱	0	0	0	0	2	1	10	5 ↓
全身疲労	7	2	70	20 ↓	17	7	85	35 ↓
気分の不調	2	2	20	20	1	0	5	0 ↓
消化器不調	0	0	0	0	1	1	5	5
下痢	1	1	10	10	3	1	15	5 ↓
胸の痛み	3	1	30	10 ↓	9	3	45	15 ↓
筋肉と関節の痛み	10	5	100	50 ↓	11	4	55	20 ↓
頭痛	4	0	40	0 ↓	8	2	40	10 ↓
体重減少	1	1	10	10	4	0	20	0 ↓
難聴	2	0	20	0 ↓	4	0	20	0 ↓

MR1はリハビリ開始前（ベースライン）、MR2はリハビリ終了後、%は各群の出現頻度を表す  
↓は各群でベースラインよりも減少したことを表す

## 【試験方法】

- 試験デザイン：オープンラベル
- 被験者：COVID-19 感染後症候群患者 36名  
※COVID-19感染で入院加療3～6ヶ月後  
※山岳スパリハビリテーションを受ける者  
リハビリ+食品摂取 22名（男：女=14：8）  
（57.8±2.5歳）→完了20名  
リハビリのみ 14名（男：女=8：6）  
（58.7±2.6歳）→完了10名
- 食品：16～18日間摂取  
還元型CoQ10 200mg/日あるいは摂取無し
- 評価：COVID-19感染後症候群の出現度

## 【結果】

- ・ リハビリと還元型CoQ10摂取を併用した群では、消化器不調以外の15症状すべてが改善した。
- ・ リハビリのみで改善した症状は、呼吸困難、寒気、全身疲労、筋肉と関節の痛み、頭痛、および難聴の8症状だった。

(Kucharska J et al, Bratisl Lek Listy. 2023;124(2):89-96 より作成)